

「HnJ-350E」開発コンセプト

加速する高齢化社会において、避けては通れないのが介護の問題。介護で最もストレスになるのは排泄障害だといわれています。人間の尊厳にもかかわるとされているコンチネンス(健康な排泄コントロール)ケアは、生涯に渡って健康で上質な生活を送るための最重要課題と言っても過言ではありません。欧米では早くから、排尿調節にかかる「骨盤底筋」の保護および強化に向けて、社会的な取り組みがなされてきました。日本においても近年、出産後のケア・リハビリを目的とした骨盤底筋トレーニングの認知度が非常に高まっています。

HnJ-350Eは、先進的なバイオフィードバック技術と、低周波治療器を組み込んだ、これまでにないユニークで合理的な骨盤底筋強化システム機器です。日本の皆様の“生活の質(QOL)の向上”に資するFURUN HEALTHCARE社の自信作を是非お試しください。



先進的なバイオフィードバック技術で

トレーニングを“見える化”する

骨盤底筋強化システム

パーソナルモデル HnJ-350E



製品仕様

本体 【付属品】 充電器 操作用端末接続ケーブル	 入力電源 : DC 5V バッテリー容量 : 1,800Ah 強度の測定範囲 : 0~25kgf 寸法 : 400x300x50mm (W-D-H) 重量 : 1.3kg
操作環境	温度 : -10°C~50°C 湿度 : 0%~75%RH
輸送および保管条件	温度 : -20°C~70°C 湿度 : 0%~75%RH 空気圧 : 700~1060 ミリバール
低周波治療器	 本体に内蔵
※コントローラーディスプレイ(別売り)	Android phone/tablet, iPhone/iPad (WiFi接続)

世界各国で特許取得済み

米国(1995年) ベトナム(2008年) インド(2008年)

韓国(2004、2007年) 中国(2008年) 日本(2011年)

*特許第4659458 〈発明の名称〉会陰部筋力増強装置



骨盤底筋

ペリネ・エクササイズをより分かりやすく効果的に！

視覚的にフィードバックしながらトレーニングすることで

“自律的にコントロールできるようになる”

それがバイオフィードバック効果です

【製造元】



FURUN HEALTH CARE Co.,Ltd.
(Gangwon-Technopark),206,130-2,Donghwagongdan-ro,Munmak-eup,Wonju-si,Kangwon do,Korea
www.furun.kr | jaykim@furunmedical.com

【お問い合わせ先】



株式会社ウエルアップ
〒220-0004
横浜市西区北幸 2-1-22 ナガオカビル 4F
TEL : 045-317-7908 / FAX : 045-317-7909
URL : <https://wellup.jp>



フーランヘルスケア

“骨盤底筋の調整能力”を 増強し、排尿トラブルや腰痛、冷え性、生活習慣病を改善。

スマホ・タブレットを利用した先進的なバイオフィードバック技術により、トレーニングの“見える化”を実現。フィードバックなしで行うよりも短期間で確実な効果が期待できます。

画面を見ながら
ラクラクup!

パーソナルモデル HnJ-350E

- 骨盤底筋の状態を視認しながら訓練できるバイオフィードバック技術
- 電気刺激で筋肉の収縮弛緩を促進する低周波治療器内臓
- デバイスを挿入しないため、産後もすぐにケアを開始可能
- 場所を取らないコンパクト設計でパーソナルユースに最適



〈各種設定画面〉

▼メイン画面

▼高さの調節

1. 本体中央のセンサーが会陰部(尿道と肛門の間)正位するように座席位置を調節してください。
2. 本体の底面中央のダイヤルを反時計方向(UP)に回しセンサーの高さを上げます。
青い着脱用ホルダがセンサーの黄色い区域に位置するか確認してください。

▼レベルの選択

▼時間の選択

■トレーニング時の測定画面【グラフモード】

●トレーニングの方法をモニター画面でシミュレーションして、画面表示に従ってスムーズにトレーニングを行うことができます。標準の**グラフモード**の他、ゲーム感覚で楽しく訓練できる**ゲームモード**があります。



① 緩徐筋線維



② 速筋線維



▼トレーニング結果



▼トレーニング履歴



本体の裏側にある**ダイヤル**を回し、利用者の身長、体重に合せて、センサーの高さを調整。ソフトウェアで**レベル**と**時間**を設定し、トレーニング開始。

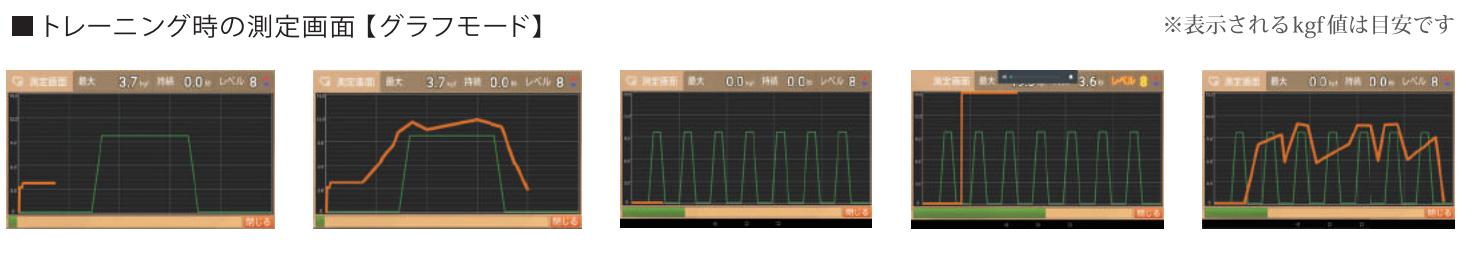
利用者は、センサー部分の圧迫に対する反動として**骨盤底筋を収縮**。



利用者の筋力の収縮力をセンサーが自動的に感知し、**リアルタイム**でモニタ一画面上に表示。

●トレーニングの効果は、モニター画面にグラフ表示や採点数値で表示されます。継続的な訓練でフィードバックが定着すると、身体感覚をからだが覚えて不随意的な生体反応を**自律的にコントロール**できるようになります。

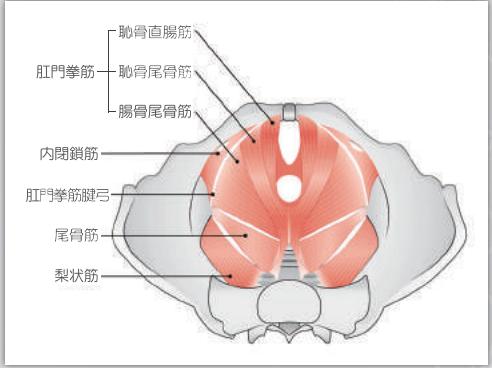
※表示されるkgf値は目安です



骨盤底筋とは？

骨盤の底を支えるインナーマッスルのこと。文字通り骨盤の底部にハンモックのような状態で位置する筋肉（骨格筋）群。骨盤底筋群とも総称されます。

子宮や膀胱(ぼうこう)及び腸などの内部臓器が下がってこないように下から支えたり、排便を促したり、肛門を引き締める役割を果たしています。体幹を支える背中の筋肉や、お尻や内腿の筋肉群とも連動しており、肥満や運動不足、加齢、女性の場合は妊娠・出産によって骨盤底筋が緩むことで、姿勢が悪くなったり、尿トラブル等のさまざまな不調を引き起こす原因となります。



骨盤底筋は訓練によって鍛えられます

骨盤底筋は腕や足の筋肉のように、鍛えれば強くなる性質をもっています。排尿障害の改善や予防、また出産後の骨盤底筋の回復には、継続的に正しいトレーニングを行い、骨盤底筋を強化することが有効であると世界的にも認められています。骨盤底筋先進国フランスでは、骨盤底筋全体のことを「ペリネ」といい、ペリネケアのためのリハビリ施設が一般的に広く普及しています。

骨盤底筋トレーニングで最も重要なのは“**自分の筋肉の位置を正しく特定して収縮させる**”こと。お尻や下腹部、太腿などの違うところに余計な力が入ってしまったり、正しく収縮できているかどうかわからないまま何となくトレーニングを続けても効果が現れないばかりか、かえって体を痛めてしまう場合もあります。

● ケゲル体操

1940年代に米国の産婦人科医アーノルド・ケゲル医師が考案した尿漏れを防ぐための筋力強化療法。医師の名前から、一般にケゲル体操と呼ばれ、骨盤底筋の位置を把握するために「排尿を途中で止めるイメージで」行います。

● ガスケアアプローチ

フランス人女医ベルナデット・ド・ガスケ医師によって確立された、姿勢と呼吸から骨盤底筋に働きかける身体的アプローチ。人体を包括的にとらえ、身体に備わった生理機能を研究し、ヨガの動きと融合させて開発されました。

